

会 議 結 果 報 告 書

会 議 名 称	政策会議	
日 時	令和5年7月18日(火) 午後1時30分～午後1時45分	
場 所	本庁舎3階3A会議室	
出席者	出 席	市長、内田副市長、教育長、政策部長、総務部長、上下水道局長
	事務局	総合政策課長、総合政策課課長代理(政策調整担当)、担当秘書課長

議題1：秦野市放課後児童ホームに関する条例の一部を改正することについて	
担当部課等	こども育成課
説明者	こども健康部長、こども育成課長、こども育成課課長代理(放課後児童担当)
提案理由	付議事案書「目的・必要性」のとおり
決定等を要する事項	付議事案書「決定等を要する事項」のとおり
会議経過 (説明・意見等)	<p>【説明】 資料に基づいて説明</p> <p>【質疑及び意見等】</p> <p>問. 5年生の在籍者数は何人か。 答. 4月時点では12人だったが、夏休み前に1人退室したため、現在は11人である。</p> <p>問. 4年生以下の在籍者数はどうか。 答. 4月時点で、91人が在籍している。</p> <p>問. 支援員の研修会の効果等はどうか。また、参加者数についてはどうか。 答. 受講者アンケートでは、「やる気が出た」という回答があり、児童ホームでは、子どもたちに「学校でも家でもない場所でのびのびと過ごせるようにしてもらいたい」と伝えたところ、「これまで安全を重要視するあまり、子どもたちへの注意が多かったかもしれないと考えさせられた」との回答があった。また、参加者数は、民間の支援員7名を含み、支援員のほぼ全員に当たる129名が参加した。</p> <p>問. 利用者へのアンケートの結果はどのようか。 答. 対象学年を6年生まで拡大してほしいという意見が38.1パーセント、4年生までは33.9パーセントという結果で、保護者からは6年生まで預かってほしいという声が一番多かった。そのほか5年生までなどの意見があ</p>

	<p>った。</p> <p>問. 定員を超過する可能性がある小学校についてはどうか。</p> <p>答. 何校か定員を超過する学校があると想定しており、小学校に空き教室がない場合は、幼稚園の空き教室を検討するなど、全ての希望者を受入れることができるよう、前向きに調整している。</p> <p>問. 定員を超過した場合の入室者の優先順位についてはどうか。</p> <p>答. 定員を大幅に超過する場合は優先順位をつけることも検討するが、まずは、利用希望者を全て受け入れられるような体制を作っていきたい。</p> <p>問. 5年生及び6年生がそれぞれ50パーセントずつ減少すると想定している理由は何か。また、民間児童ホームについてはどうか。</p> <p>答. 他市のデータ等を参考にしており、概ね50パーセント程度減少すると考えている。また、民間児童ホームについては算出していないが、概ね同じような傾向にあると考えている。</p>
<p>会 議 結 果</p>	<p>原案了承</p>